B区遺構外

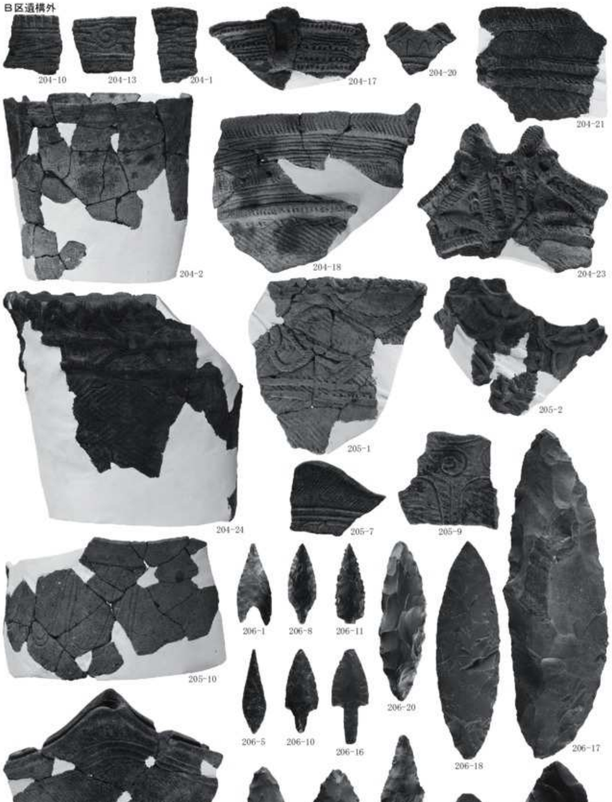

写真118　B区遺構外出土遺物(1)

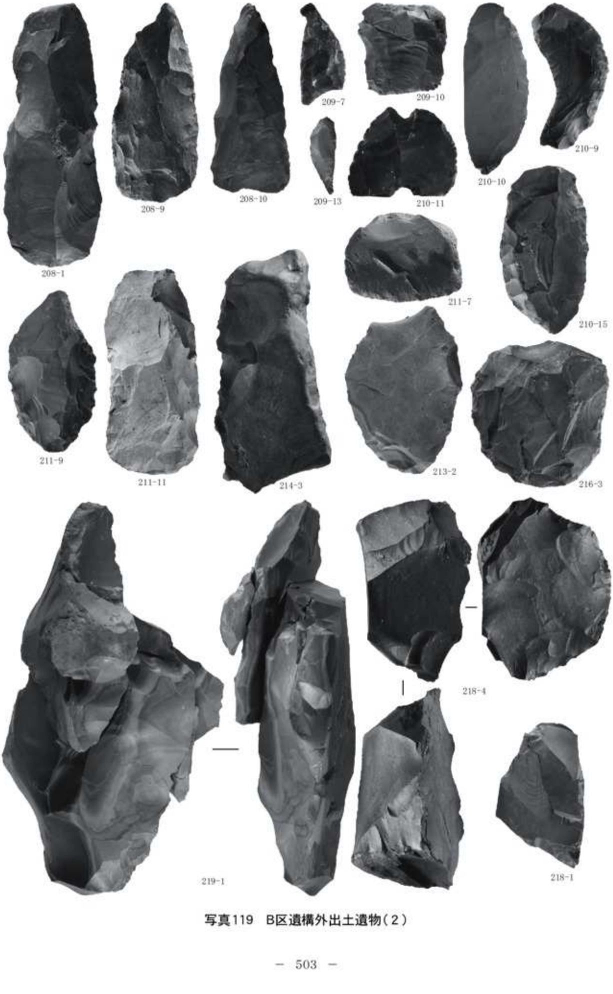

写真119　B区遺構外出土遺物（2）

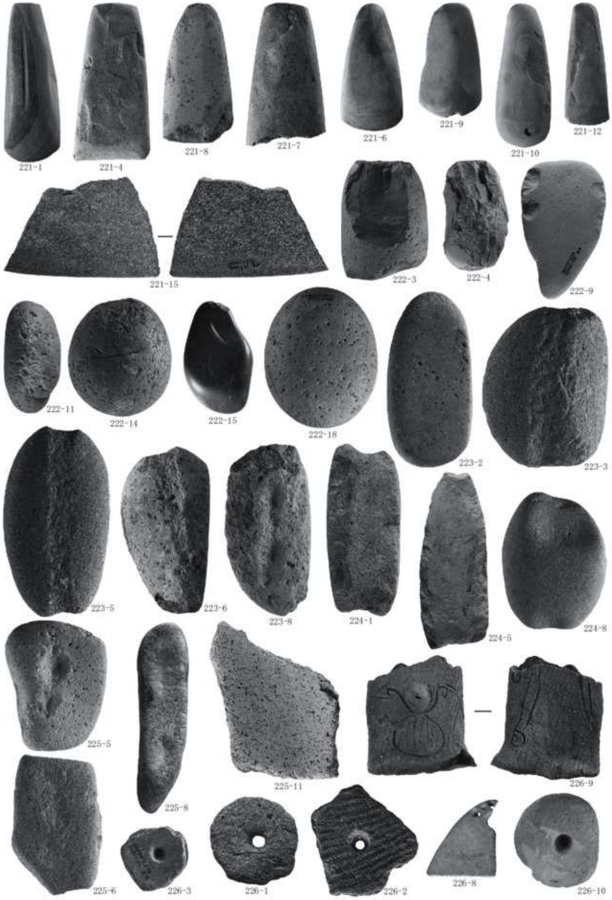

写真120　B区遺構外出土遺物(3)

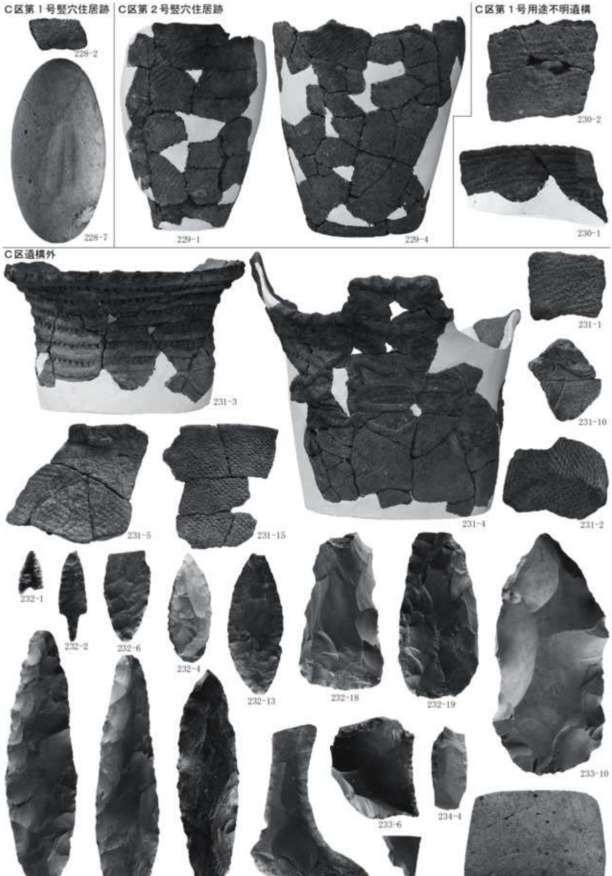

写真121　C区出土遺物

B区第21号竪穴住居跡出土線刻石冠(正面)(図104－6)

(裏面)

C区遺構外出土石冠(図234－8)

擦切具と擦切痕のある部材

出土原礫

写真122　石冠・擦切具・原礫

報告書抄録

ふりがな	やまだかっこにいせき さん
書名	山田(2)遺跡Ⅲ
副書名	国道280号道路改築事業に伴う遺跡発掘調査報告
巻次	
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第５０８集
編著者名	小田川 哲彦・小山　浩平・神　昌樹・業天　唯正
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター
所在地	〒038－0042　青森市新城字天田内152－15　TEL 017－788－5701
発行機関	青森県教育委員会
発行年月日	2011年４月28日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	旧日本測地系 (Tokyo Datum) 北緯	旧日本測地系 (Tokyo Datum) 東経	世界測地系 (JGD 2000) 北緯	世界測地系 (JGD 2000) 東経	調査期間	調査面積	調査原因
やまだ かっこに いせき 山田（2）遺跡	あお もり けんひがし つ がる ぐん 青森県東津軽郡 よもぎ た むらおおあざ せ へ じ 蓬田村大字瀬辺地 あざやま だ 字山田522、外	02304	12027	40°00′19″	140°38′35″	41°00′18″	140°38′23″	20090421 ～ 20091023	対象面積 7,000㎡ 調査面積 7,000㎡	国道280号道路改築事業に伴う遺跡発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
山田（2）遺跡	集落	縄文時代 (前期後葉 ～ 晩期初頭)	竪穴住居跡　13軒 土坑　146基 土器埋設遺構　15基 焼土遺構　3基 立石遺構　3基 用途不明遺構　2基 剥片集中範囲　1基 捨て場　5箇所 柱穴(ピット)　181基	縄文土器・石器・土製品・石製品(玦状耳飾り、岩偶、青竜刀形石器、石棒)	
		平安時代		土師器・擦文土器	

要約

山田(2)遺跡は津軽半島東側中央部に位置する蓬田村に所在し、標高約20mの海岸段丘上に立地している。調査は2006年から2009年まで行われ本書は最終年度の報告書となる。今回2009年度の調査は三次目の本発掘調査となり、上記の時期の各遺構が検出された。遺物は縄文時代の土器・石器が段ボール箱で約250箱分が出土している。

これまでの検出遺構の時期から、本遺跡は縄文時代前期後葉から後期後葉まで断続的に集落が営まれていたほか、平安時代にも集落が形成されている。縄文時代の遺構は、台地の北端から東側縁辺部と台地南西側に密集して検出されているほか、南西側の小谷(沢)を介した低位地にも検出されている。前期末葉から中期中葉の竪穴住居跡は台地の南北両縁辺部に集中する傾向にあり、中期末葉から後期初頭のものは台地の北側に集中する。また後期後葉の竪穴住居跡は台地の南端につくられている。土坑は住居周辺に重複して検出され、A区北側には小規模なものが多くB区は大型のものが多い。これらの内には円筒上層式の大型土器が埋設された土坑も検出されている。また、台地の南端には縄文時代前期末葉のフラスコ状土坑群のエリアが検出されている。北捨て場は縄文時代前期末葉から後期初頭まで使用が続けられた捨て場で、北端の急崖が自然崩落した地形上に形成されており、遺物のほか土砂等も廃棄されている。西捨て場は縄文時代前期末葉から中期前葉の捨て場で、遺構に近接した台地西側の緩斜面上に形成されている。また、台地南側斜面部の埋没沢(支流)も縄文時代前期末葉に小規模な捨て場として使用されているほか、小谷(沢本流)の一角も後期前葉や晩期初頭の土器廃棄場所として使われている。

これまで出土した遺物は、縄文時代の土器と石器のほかに平安時代の遺物を含めて段ボール箱で累計1,277箱分にのぼる。遺物の内でも特に剥片・砕片の数量が多く石核の多さも注目される。石器製作跡と断定できる遺構はないが、石鏃や小型石槍なども多数出土しており、これらを含む石器の製作が行われていたと考えられる。石器製作に関わる一連の遺物は、２カ所の捨て場および各遺構から満遍なく出土していることから、途絶えることなく行われていたものと考えられる。

縄文時代の各時期では小規模ないしは中規模集落であったものと考えられるが、石器製作に特化した特異な遺跡であり、さらに土偶・石棒のほか青竜刀形石器や玦状耳飾りなどの出土から見ても、当該地域の拠点的な集落であったものと思われる。

山田(2)遺跡遺構総数

遺跡名	時　代	遺　構	1次調査 山田(2)遺跡	2次調査 山田(2)遺跡Ⅱ	3次調査 山田(2)遺跡Ⅲ	総数
山田(2)遺跡	縄文時代	竪穴住居跡	21軒	38軒	13軒	72軒
		土坑	17基	337基	146基	500基
		土器埋設遺構	7基	28基	15基	50基
		焼土遺構	1基	2基	3基	6基
		立石遺構	−	−	3基	3基
		配石遺構	1基	−	−	1基
		礫・石器集中	−	11基	−	11基
		用途不明遺構	3基	2基	2基	7基
		捨て場	−	1箇所	5箇所	6箇所
		柱穴(ピット)	−	1174基	181基	1355基
	平安時代	竪穴住居跡	3軒	1軒	−	4軒
		土坑	−	3基	−	3基
		焼土跡	−	1基	−	1基

青森県埋蔵文化財調査報告書　第508集

山田(2)遺跡Ⅲ

−国道280号道路改築事業に伴う遺跡発掘調査報告書−

発行年月日　2011年4月28日
発　　行　青森県教育委員会
編　　集　青森県埋蔵文化財調査センター
〒038−0042　青森市新城字天田内152−15
TEL 017−788−5701　FAX 017−788−5702
印 刷 所　青森コロニー印刷
〒030−0943　青森市幸畑字松元62−3
TEL 017−738−2021　FAX 017−738−6753

活彩あおもり

この印刷物は298部作成し、印刷経費は１部当たり22,575円（うち県負担7,901円）です。